

【JPrOS 通信 No. 275】 2017. 8. 18 第 68 回日本電気泳動学会総会のご案内

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 275 号 ★★★

2017. 8. 18

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局 (info@jhupo.org) にお問い合わせください。

■■■ 第 68 回日本電気泳動学会総会のご案内 ■■■

日本プロテオーム学会 会員の皆様

広島大学の木下英司先生より第 68 回日本電気泳動学会総会の開催のご連絡が届きましたので、以下にご案内申し上げます。

(本メール内容が読みにくい場合は、添付のファイルをお読みください)

日本プロテオーム学会事務局

■■■ 第 68 回日本電気泳動学会総会開催のご案内 ■■■

日本プロテオーム学会 会員の皆様

第 68 回日本電気泳動学会総会を、2017 年 11 月 24～25 日（金、土）、広島大学霞キャンパス 広仁会館にて開催いたします。

本総会では、電気泳動という基盤技術の開発と応用に関心をもつ方々が集い、学際的な視点から発表・討論を行います。定例の総会およびシンポジウムでは、電気泳動の素材や技術の開発、既存技術の改良や新しい活用法、バイオマーカーや創薬標的の探索への応用など、多種多様な内容が議論されてきました。「電気泳動」という本会のユニークな切り口は、参加者の方々からたいへん好評でした。第 68 回総会も盛会となるよう、企画したいと思います。

第 68 回総会の開催を予定する広島市は、空、陸、海、いずれのアクセス網も充実しており、日本国内いずれの地域からもアクセスしやすい立地条件にあります。世界遺産である原爆ドームと宮島の厳島神社をはじめ、県内各地の数多くの見所はビフォー&アフターコンベンションに最適です。また、瀬戸内海に面し、中国山地を背にした広島は、海の幸、山の幸に恵まれ、美味しいものがたくさんあります。特に、開催時期には広島を代表する「牡蠣」を堪能することができます。鮮やかな紅葉溢れる広島で、会員の皆様と活発に情報交換することで、本会を益々発展させていきたいと考えています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 68 回 日本電気泳動学会総会

総会長 木下英司

〒734-8553 広島市南区霞 1 丁目 2-3

E-mail: 68th-meeting@jes1950.jp

-----【大会概要】-----

第 68 回日本電気泳動学会総会は下記の要領で開催します。参加登録及び一般演題を受付中です。ホームページを参考に、事前登録をお願いします。

(第 68 回日本電気泳動学会ホームページ:

http://www.jes1950.jp/J_MEETING/68th_meeting/68th_meeting.html)

記

総会長 木下英司 (広島大学)

会 期 2017 年 11 月 24 日(金) ~ 25 日(土)

会 場 広島大学霞キャンパス広仁会館 (<http://www.koujin-med.jp/hall/index.html>)
(〒734-8551 広島市南区霞 1 丁目 2-3)

参加費 名誉会員、正会員、準会員、学生のメール会員は無料
一般のメール会員は 2000 円、非会員は 3000 円 (抄録集代金を含む)

懇親会

会場 広島大学 霞キャンパス 霞会館ヴィオラ 2 階「ヴィオラダイニング」

参加費 4000 円 (学生 2000 円)

後 援 日本プロテオーム学会

参加登録期日 2017 年 11 月 10 日 (金)

一般演題期日 2017 年 8 月 25 日 (金)

(一般演題申込の期日が迫っておりますので、上記の総会ホームページにて申込をお急ぎください)

一般演題の発表はすべてポスター発表となります。

申込演題の中から 6 演題を選定し、口頭発表していただきます。口頭発表が可能かどうかを演題申込時に併せてお知らせください。

(http://www.jes1950.jp/J_MEETING/68th_meeting/application_information.pdf)

一般演題の演者として優れた発表を行った若手研究者 (38 歳以下) に対し、優秀発表賞が授与されます。

～第 68 回総会シンポジウムセッションの全体像～ (敬称略)

2017 年 11 月 24 日 (金)

セッション1：Phos-tag SDS-PAGE が拓くタンパク質リン酸解析，座長：木下 英司（広島大学），木村 弥生（横浜市立大学）

- 1) 木村 弥生（横浜市立大学）Phos-tag わーど！～Phos-tag が拓く電気泳動の未来～
- 2) 木村 妙子（放射線医学総合研究所）複雑怪奇なリン酸化タンパク質タウの Phos-tag 解析
- 3) 小迫 英尊（徳島大学）Phos-tag などのリン酸化プロテオミクス技術による疾患原因キナーゼの機能解析
- 4) 山本 林（東京大学）オートファジータンパク質群の動的相互作用と分子集合形態の解析
- 5) 澤崎 達也（愛媛大学）Phos-tag：生化学的および細胞内タンパク質のリン酸解析のため最適ツール

セッション2：新しい臨床検査と電気泳動の活用法，座長：飯島 史朗（文京学院大学），ハウリー 亜紀（文京学院大学）

- 1) 植田 幸嗣（公益財団法人がん研究会）エクソソームを標的とした新しい臨床検査
- 2) 小寺 義男（北里大学）血清・血漿中の Native Peptide 分析
- 3) 井本 真由美（近畿大学医学部附属病院）血清蛋白分画検査を院内で実施することの意義
- 4) 山田 俊幸（自治医科大学）クリオグロブリンの解析 一付加価値のある検査コメントを目指して
- 5) ハウリー 亜紀（文京学院大学）臨床検査室で手軽に電気泳動・ウェスタンブロット

セッション3：電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩，座長：安井 寛（東京大学），伊東 文生（聖マリアンナ医科大学）

- 1) 安井 寛（東京大学）電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩 ～はじめに～
- 2) 麻奥 英毅（広島赤十字・原爆病院）多発性骨髄腫 臨床の現場から
- 3) 黒田 芳明（自治医科大学）多発性骨髄腫 基礎研究からのアプローチ
- 4) 坂井 晃（福島県立医科大学）多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Bリンパ球の解明にむけて

2017年11月25日（土）

セッション4：電気泳動によるタンパク質複合体の解析，座長：平野 久（横浜市立大学）

- 1) 山野 晃史（東京都医学総合研究所）ブルーネイティブ電気泳動を用いたミトコンドリア膜透過装置複合体の解析
- 2) 池田 和博（埼玉医科大学）ブルーネイティブ電気泳動によるミトコンドリア呼吸鎖複合体の解析
- 3) 寺内 一姫（立命館大学）ブルーネイティブ電気泳動による時計タンパク質 KaiC の動的構造解析
- 4) 高林 厚史（北海道大学）ブルーネイティブ電気泳動を用いた光合成生物タンパク質複合体の網羅的解析
- 5) 松田 幹（名古屋大学）密度勾配遠心分離と SDS ゲル電気泳動を用いた分泌膜小胞結合タンパク質の解析

セッション5：電気泳動法を用いた悪性腫瘍の診断や予後予測，治療効果予測への応用，座長：佐藤 雄一（北里大学），近藤 格（国立がん研究センター）

- 1) 柳田 憲吾 (北里大学) 肺癌における細胞表面タンパク質同定と血清診断マーカーとしての有用性の検討
- 2) 鴨志田 伸吾 (神戸大学) 免疫組織化学染色によるがん化学療法感受性予測
- 3) 佐藤 雄一 (北里大学) 各種プロテオーム手法で獲得したマーカーの非小細胞性肺癌における術後補助化学療法への応用
- 4) 菊田 一貴 (慶應大学) 軟部肉腫の浸潤性予測バイオマーカー開発のためのプロテオーム解析
- 5) 近藤 格 (国立がん研究センター) 希少がんのプロテオーム解析

セッション6: MALDI biotyping の新展開, 座長: 梶原 英之 (農業・食品産業技術総合研究機構), 曾川 一幸 (麻布大学)

- 1) 曾川 一幸 (麻布大学) MALDI biotyping の臨床応用
- 2) 青山 冬樹 (アサヒ飲料株式会社) 清涼飲料製造における MALDI-TOF-MS を利用した微生物同定
- 3) 森田 華子 (実験動物中央研究所) MALDI-TOF MS を用いた細菌同定受託検査の現状
- 4) 松山 由美子 (ブルカー・ダルトニクス株式会社) MALDI-TOF MS による微生物分析ー同定を超えた最新技術
- 5) 梶原 英之 (農業・食品産業技術総合研究機構) MALDI biotyping の農業分野への応用

バイオインダストリーセミナー 1

2017年11月24日(金) 12:30~13:30

主催: 和光純薬工業株式会社

講師: 小池 透 (広島大学)

演題: 金属配位結合を利用したプロテオミクス

バイオインダストリーセミナー 2

2017年11月25日(土) 12:15~13:15

主催: 株式会社ナード研究所&マナック株式会社

講師: 浅川 大樹 (産業技術総合研究所)

演題: エレクトロスプレーイオン化ー電子移動解離タンデム質量分析法のメカニズムと Phos-tag を利用したリン酸化ペプチド分析への応用

第68回日本電気泳動学会総会事務局

68th-meeting@jes1950.jp

〒734-8553

広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院医歯薬保健学研究科

Tel./Fax: 082-257-5281
